

平成20年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

2 事業計画

(1) 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

建物・空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者様が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めます。

地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染症予防のために毎日、トイレ・手摺・ドアノブ等の殺菌消毒を行います。

イ 効率的な運営への取組について

地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めます。

また建物管理、保守、送迎車輛リース等の委託業者の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図っていきます。

ウ 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応します。また法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し取り組みを図ります。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

年2回以上、デイサービスのご利用者や貸室ご利用者等を含めた避難訓練を行い、緊急時に落ち着いた行動が取れるよう訓練を行います。その内1回は藤棚地区センター・藤棚ハイツとの合同防災訓練を行います。

地域ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時には要援護者の非難場所に指定されます。地域に要援護者の避難施設であることをPRするとともに、日ごろから災害応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備し、職員の意識を向上して災害緊急時に備えます。

オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中にヒヤリとしたりハツとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故を未然に防ぐ努力を継続的に行います。また所内での会議などにおいても法人内の他事業所での事故の事例や横浜市の事故防止の手引き・事業所内の事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人では個人情報保護規程を定め、地域ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また施設内で個人情報保護、情報セキュリティー研修を年1回以上行い意識の啓発に努めています。

実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類、またフロッピーディスクなどは施錠できるロッカーなどで保管することとしています。

基本的には外部への持ち出しは厳禁ですが、どうしても携帯が必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしています。また、ファクスや郵送の誤送信が起こらないよう、取り扱い手順を決めて、日常業務を行っています。

デイサービスのご利用者の記録書等の取り扱いについては、誤返却防止のために、看護師、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行います。

研修ではご利用者様の個人情報を大切に扱うことは「人を大切にする」と同義であり、サービスの基本である事を全員で確認しながら、チェックシートの活用により業務の振りかえりを行います。

キ 情報公開への取組について

地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開することに努めます。またホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供します。

ク 環境等への配慮及び取組について

節電・節水・コピー用紙の裏面活用・ごみの減量化を励行し、経費削減に取り組みます。横浜市ごみゼロルート回収のルールに従い、資源ごみの分別収集を行います。ご利用者の皆様にはごみの持ちかえりや館内での禁煙をお願いします。また、使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には適切な室温を維持するなど、節電への取り組みを継続的に行っていきます。毎月1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めます。外構の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しています。また、植栽の剪定についてはボランティアに依頼して行います。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

専門職を配置し委託事業を適切に実施します。介護保険事業については人員配置基準を遵守して業務を行います。多様なニーズや介護保険制度見直しなどの社会情勢の変化に対応し、専門分野に限らず、多様な業務に対応できる職員の育成を目指し、各種研修に参加し幅広い知識と技術を身につけた職員を育成するよう努めてまいります。

イ 職員の研修計画について

年度当初に年間の研修計画をたて、より良いサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施します。外部研修にも積極的に職員を参加させます。また、様々な研修情報を職員に提供し自己啓発研修や、資格取得を勧めていきます。

(3) 事業内容

ア 関係機関との連携について

福祉・保健に関する様々な事業を展開していく中で、区の福祉保健センター、社会福祉協議会、地域の医療機関、地域の福祉保健団体、ボランティア団体、介護サービス事業者などと日頃から連携を取り、役割分担を行いながら、高齢者、障がい児・者、子育ての支援を行っていきます。

イ 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供について

地域ケアプラザの職員は地域の様々な保健福祉活動や団体の活動に参加させていただきながら、皆様から地域の情報やニーズを収集させていただき事業運営に反映させる様努めます。

また、地域ケアプラザは広報誌やホームページにより地域の情報や制度の情報などをより分かりやすく、迅速に地域の皆様に情報提供するよう努めます。

ウ 地域福祉のネットワークの構築について

地域ケアプラザは地域の福祉保健活動団体と連携するために定期的な会合に参加し、また日常的に情報交換を行いながら様々な事業を行っていきます。地域の行事にも参加させていただき、地域のニーズを把握するよう努めます。

支えあい勉強会において地域のどなたでも参加できる体制を整え、地域住民に呼びかけて、地域で必要とするネットワークの基盤づくりをしていきます。

エ 地域ケアプラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

地域の皆様の福祉・保健活動等の支援や交流の場として、多目的ホール等の貸し室をご利用いただきます。また、地域ケアプラザ主催の教室や講座を開催し地域の方々が誰でも集える場を提供します。

地域包括支援センターは地域の身近な相談窓口として保健・福祉の専門の相談員が相談を無料でお受けし、情報提供や関係機関との連絡調整を行います。

高齢者のデイサービスを実施する他ケアプランの作成も行います。これらの各事業が連携を取り合いながら、地域のニーズに応じた保健・福祉サービスを提供していきます。事業を実施する中で地域の関係団体との連携を図り、地域のネットワークを構築するよう努めていきます。

オ 地域ケアプラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

各部門での検討事項、決定事項については、定例の会議・毎朝のミーティング等の中で職員全員に周知します。日常的には報告・連絡・相談を相互に行い、職員間のコミュニケーションが円滑に行えるように努めています。ローテーション勤務であるため連絡もれが起こりがちですが、連絡メモ・連絡ノート・所内メールを活用し、様々な情報については所内回覧やメールによる情報の共有化を図っていきます。

パートスタッフ向けには連絡ノートと掲示板の活用により、お客様への対応を統一しチームケアを行います。

●地域活動・交流事業

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組みについて

急な勾配の山坂や細い道路が多い地域であり、古くから住んでいる住民が単身や高齢夫婦世帯となり、外出に困難が生じている方が多く見受けられます。住民の高齢化率は25.7%を超えており、地域で活動する役員やボランティアも高齢化しているので後任を探すのに苦労されています。

高齢者が地域で自立した生活を継続できるよう介護予防の考え方を啓発し、社会的

交流の場を提供して要介護状態にならないよう働きかけていきます。要介護者になった場合は居宅介護支援事業者やサービス提供事業者と連携して継続的に支援を行っていきます。

子どもの人口は少ない地域ですが、乳幼児を抱える親が孤立化している状況が散見されます。地域ケアプラザで子育て中の親が気軽に相談ができ、情報交換や交流できるように定期的な子育て支援事業を行います。

地域活動交流事業ではインフォーマルサービスの提供やネットワークの構築に向けて努力していきます。また、地域住民への様々な情報を発信していきます。

イ 福祉保健活動団体等が活動する場の提供について

登録団体の福祉保健活動を把握し、団体の皆様がより一層地域で活発に活動していただけるようコーディネートしていきます。地域の皆様が施設を利用するに当たり、利用団体のご意見・ご要望を反映できるように、年1回のアンケートの実施、または受付にご意見受け付け箱を設置し、福祉保健活動団体等が活動しやすい場の提供に努めます。地域に配布する広報誌を利用して貸室利用に関する情報提供を行ってまいります。また、団体間の連携が図れるよう年に1回以上懇親会を開催して、交流を図り団体間のネットワークを構築するよう努めていきます。

ウ 運営協議会の開催時期・議題について

○開催時期

第1回 6月（平成19年度事業実績報告・平成20年度事業計画（案）承認
運営委員の交代による委員長の選出

第2回 11月（平成20年度上半期事業実績報告・下半期事業計画承認（案）
提出

その他は、必要に応じて開催致します。

○議題

運営協議会は、地域の代表の方々に向けて、地域ケアプラザにおける事業計画・事業実績報告を行います。また、各種ご要望等をお伺いし、地域ケアプラザのより良い運営を行えるように助言ご指導をいただいています。

エ ボランティア育成及びコーディネートについて

現在ボランティア活動をされている方が継続して活動を続けられるように相談や調整を行います。また、新たにボランティア活動を始める方を様々な場面で発掘し地域のインフォーマルサービスに繋げられるよう呼びかけていきます。小中高校生がボランティア体験できるように活動の場を提供し、支援していきます。

オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

地域ケアプラザの貸室においては、地域の保健・福祉・医療の団体に有効活用していただけるよう、広報誌等で利用状況等を情報提供し稼働率の向上に努めます。地域ケアプラザを様々な世代の市民の皆様にご利用いただけるよう各種講座を企画し、広報誌・ホームページ等でPRを行ってまいります

カ 福祉保健活動（インフォーマルサービス）の開発・新たな地域福祉の担い手の育成のための自主事業の展開について

地域ケアプラザの自主事業として実施していた配食サービス「みつわの会」や西区のリーディング事業から発足した情報アドバイザー「eネットにし探検隊」は自立化して地域のインフォーマルサービスとして活躍していますが、今後もこれらの団体の活動支援を行ってまいります。今年度は体操教室（3教室）やヨガ教室を自立化できるようにご利用者に働きかけを行ってまいります。

キ 区行政との協働について

西区の地域保健福祉計画に添って区や西区社会福祉協議会と共に事業を実施します。

○安心なまちづくりを目指し、地域全体でサポートを必要とする人を見守るために、ミニデイサービスや配食サービスその他、ケアプラザの機能を活用して地域の中で支援のネットワークを構築するよう働きかけを行っています。また権利擁護や悪質商法に対する知識を啓発する講座等も行っていきます。

○活気のある健康なまちづくりのために、健康作りの体操教室やヨガ教室の開催。介護予防のための各種趣味の教室の開催。介護予防に関する啓発をミニデイサービスなどでお話していきます。認知症予防の取り組みとして「脳の健康教室」を実施します。

○一人ひとりの個性を認め合い、みんなが共存するまちづくりのために障がい児の余暇支援事業を区社会福祉協議会との共催で行っています。また小中学生にボランティア体験や福祉体験の場を提供し福祉への理解を深めていただいています。

○地域全体がつながりを持つまち 地区センターと同時開催で文化祭を開催し、地域の多くの団体に参加していただきます。その他地域のお祭りにも参加させていただきます。支えあい勉強会やケアマネサロンを開催して、団体間の情報交換やそれぞれの役割の理解に努めます。

○子どもが健やかに成長できるまち 子育て支援事業として「親子で遊ぼう」を南浅間保育園と遊びの杜保育園との共催で、親子がふれ合いながら楽しめる講座を毎月行います。

○活気にあふれ健康なまち 世代を超えた高齢者と子どもたちの交流の場として、デイサービスの中でのふれあいや老人会の輪投げ・ボーリングの会等の場を提供していきます。

○情報が正確に伝わるまち 情報アドバイザー「e ネットにし探検隊」によるパソコン指導とインターネットの使い方指導、ホームページの作成により地域の情報を発信していきます。その他、地域ケアプラザの広報誌やホームページを活用して保健福祉の情報を発信していきます。

その他、地域保健福祉計画の推進に地域の皆様と共に取り組んでいきます。

● 地域包括支援センター事業

ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

地域包括支援センターの役割について、広報誌やパンフレットを掲載し町内の回覧に載せていただいています。連合町内会や、自治会、民生委員・児童委員協議会の会合の席に積極的に参加させていただき、包括支援センターの役割について説明をさせていただきます。また地域ケアプラザ内での各種講座やミニデイサービス「赤い靴」などではご利用者の皆様に、制度の利用方法や悪質商法に対する注意など様々な情報を継続的に発信させていただいています。地域の老人会やお茶の間会などの会合にも出前講座ができることをPRさせていただきます。「西区ケアマネ研究会」と連携してカンファレンスや担当者会議の開催支援・研修会の開催等を周知してまいります。

イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- 町内会や老人会、一人暮らし高齢者食事会、趣味の教室などに「出前講座」をさせていただき、介護予防の重要性についての啓発を行います。
- 高齢者向けに、いきいきチェックリストを活用してアンケートを行い、心身機能が低下している高齢者を発見して、介護予防プランと一緒に作り介護予防事業に繋げることで、健康な生活を目指していきます。
- 地域活動交流事業と連携し介護予防教室（折り紙教室、童謡唱歌を歌う会、編み物の会、情報アドバイザー、脳の健康教室等）への参加を推進します。
- 健康作りのための転倒骨折予防体操やハイキングの会の支援を継続していきます。
- 認知症予防のための「脳の健康教室」を全 24 回実施します。

ウ 介護予防ケアマネジメント事業

- 地域ケアプラザの広報誌や地域活動交流事業の各講座で介護予防の取り組み状況をご紹介します。
- 地域支援事業や地域住民による様々なサービスや集まりとの連携を図りながら介護予防ケアマネジメントを行っていきます。
- うつ傾向のある方には訪問型の指導も活用していきます。
- 地域活動交流事業との連携を図り、自主事業を活用して一緒に取り組みます。
- 町内の「ふれあい会」に参加させていただきご相談をお受けします。
- 老人クラブの友愛活動推進委員との連携により特定高齢者を発掘します。
- 地域の民生委員や自治会長から心配な高齢者を紹介していただき、同行訪問させていただき支援に繋がります。

地域にお住まいの高齢者ができるだけ要介護にならないよう、様々な方法を考えて取り組んでいきます。

エ 総合相談・支援事業

- 地域ケアプラザで 24 時間、高齢者だけでなく障がい者、子育てなどの相談が受けられることを、広報誌やホームページなどで PR します。
- 3 職種（看護師・社会福祉士・主任ケアマネ）が連携を取りながらご相談をお受けし、必要なサービスが受けられるよう継続的に支援していきます。
- 定期訪問により地域の実態把握に努めます。
- 区と情報の共有に努め、連携を図りながら対応します。必要時は医療機関や専門機関に繋がれながら支援します。
- 地域の保健福祉団体等の方から相談があった時には迅速に対応し、必要な場合は同行訪問をさせていただきます。

オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

区の「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、知識や技術を向上させるとともに、専門機関にすぐに相談できる関係作りをします。

連合町内会や民生委員協議会に頻繁に出かけ、顔の見える関係作りを日頃から行い、相談しやすい地域ケアプラザを目指します。

介護負担の大きいご家族には、区内のボランティア団体である「介護者の集い あげぼの会」を紹介して、連携をとりながら支援を行います。介護者の集いと共催で定期的に交流会を行っていきます。

虐待事例を発見した場合には区役所や他の専門機関と連携をとりながら対象者やご家族の支援を行っていきます。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- 毎月第1, 3水曜日をサービス担当者会議開催支援として設定し、状況により地域包括支援センター職員、区役所担当が助言者として出席しています。その他、タイムリーなカンファレンスやケアマネジャーからの相談を、3職種で連携して対応します。
- 西区ケアマネ研究会や、居宅介護支援事業所へ訪問活動を行い、ケアマネジャーと顔の見える関係作りを行います。
- 西区ケアマネ研究会の研修担当委員会、医療連携委員会に参加し、研修や講座を協働で企画しお互いの技術向上に努めます。
- 医師会、サービス提供事業者、地域の組織・団体との連携により、包括的・継続的なケア体制の構築を目指します。

キ 介護予防支援業務の取り組みに関する考え方（実施体制等）

《職員体制》

地域包括支援センターの3職種と非常勤の介護支援専門員2名は、介護予防支援のケアプランが適性にご利用いただけるよう最善を尽くします。

《目標》

介護予防支援計画の作成にあたっては、利用者の意思及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、利用者及びその家族の主体的な参加とともに、適切な保健・医療・福祉サービス及びボランティア団体等との連携を図り総合的なサービス提供の調整に努めます。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることを目指します。

事業の運営にあたっては公正中立な立場で、多様で総合的なサービス調整をします。

《実費負担》

○ご利用者から頂く利用者負担金は、償還払いの場合を除き無料です。

○介護保険料を一定期間滞納した場合は、一旦サービス利用料金の全額をお支払いいただかなければなりませんのでご注意ください。その後区役所に対して保険給付分を請求して下さい。

○ケアマネジャーがご利用者宅にお伺いするのに必要な交通費についてはお支払いいただく必要はありません。

ただし、プラザの通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨を文書に署名（記名）、押印を頂きます。

① 公共交通機関を利用した場合 公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

② 自動車を利用した場合 プラザより片道 6.5Km未満は無料とし、6.5Km以上は 10Kmごとに 160円を頂きます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託ができるとされている介護予防支援業務については、利用者の選択を十分に尊重した上で、サービス利用者と従来からケアプランを作成していたケアマネジャー・居宅介護支援事業所との信頼関係を維持するためにも、原則として、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に、介護予防支援業務を委託します。

ご利用者が在宅生活を継続できることを目標に、やる気を引き出す支援に取り組みます。

《利用者見込み》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
149	150	152	153	156	157
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	161	163	164	167	169

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

○ご利用者が自立した日常生活を営むこと及びご利用者のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、個別機能訓練等を行います。また、ご利用者のご家族に向けて介護方法の周知等を行います。

○事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

○サービスの種類

- ① 通所介護計画の作成
- ② 生活指導（相談援助等）
- ③ 機能訓練（日常動作訓練）
- ④ 介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）
- ⑤ 健康状態の確認
- ⑥ 送迎
- ⑦ 食事
- ⑧ 入浴
- ⑨ 個別機能訓練

《実費負担》

○1割負担分（1回あたりの金額）

基本額（通常規模型）	経過的要介護	645円
	要介護1	718円
	要介護2	837円
	要介護3	955円
	要介護4	1,074円
	要介護5	1,193円

○入浴介助加算 53円

○個別機能訓練加算 29円

○食費負担 650円

（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））

○通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。

○キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費450円を頂きます。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45～15:50

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務1名）
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	6名（非常勤兼務6名）
介護職員	25名（非常勤専従）25名
機能訓練指導員	6名（非常勤兼務6名）
事務員	2名（常勤兼務1名、非常勤兼務1名）
調理員	6名（非常勤専従6名）
運転手	4名（非常勤専従4名）

《目標》

- (1) ご利用者が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて、通所介護サービスを提供します。

- (2) 通所介護計画書の作成にあたっては、ご利用者の意思を尊重し、心身状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。計画の作成にあたっては、必要に応じてご利用者宅を訪問の上、状況調査を行います。
- (3) 個別機能訓練や口腔ケアを行い、心身機能の向上を目標としています。
- (4) サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止又は要介護状態になることの予防に資するように十分配慮します。
- (5) 地域ケアプラザは、従業員の資質向上を図るための研修を定期的に行います。また業務体制を整備します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 「無料お試し利用」としてデイサービスを無料で体験していただけます。利用を迷っている方は是非お試し下さい。
- ・ 厨房で調理した温かくておいしい家庭料理を毎回提供しています。季節感のあるメニューをお楽しみ下さい。
- ・ 工夫を凝らした手作りおやつと、日本各地から取り寄せた銘菓をお楽しみいただいています。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
681	704	689	715	722	697
10月	11月	12月	1月	2月	3月
707	685	644	646	652	713

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと及びご利用者のご家族の負担を軽減させていただくことを目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、そのお体の状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、運動器機能訓練・口腔機能向上等を行います。また、ご利用者ができることはご自分でいながら、社会的交流を持つことで、潤いを持った生活を楽しんでいただけることを目標にしています。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

○サービスの種類

- ① 介護予防通所介護計画の作成
- ② 生活指導（相談援助等）
- ③ 機能訓練（日常動作訓練）
- ④ 介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等のサービス）
- ⑤ 研康状態の確認
- ⑥ 送迎
- ⑦ 食事
- ⑧ 入浴
- ⑨ 運動器機能向上

《実費負担》

- 1割負担分（利用料、利用者負担金は月単位の定額制です。送迎・入浴も単位数の中に含まれています。）
 - （要支援1） 2,360円
 - （要支援2） 4,615円
- 運動器機能向上加算 239円
- 食費負担 650円
（1日あたりの食材料費・調理費（おやつ代含む））
- 通常のサービス提供の範囲を超える費用・選択サービスメニューは全額負担。
- キャンセル料（前日の営業時間終了までに、ご連絡がない場合、食材料費450円を頂きます。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45～15:50

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務1名）
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	6名（非常勤兼務6名）
介護職員	25名（非常勤専従）25名
機能訓練指導員	6名（非常勤兼務6名）
事務員	2名（常勤兼務1名、非常勤1名）
調理員	6名（非常勤専従6名）
運転手	4名（非常勤専従4名）

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
32	32	33	33	28	34
10月	11月	12月	1月	2月	3月
35	35	35	36	36	37

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

○管理者 1名（常勤兼務）管理者は業務の管理を一元的に行います。

ケアマネジャー 1名（常勤専従1名）
1名（常勤兼務1名）
2名（非常勤兼務2名）

事務員 2名（常勤兼務1名、非常勤兼務1名）

ケアマネジャーは利用者からの相談に応じるとともにケアプランを作成します。

《目標》

○適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効果的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等との連絡調整を行います。

○事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

○居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。

《実費負担》

○ご利用者から頂く利用者負担金は、償還払いの場合を除き無料です。

○介護保険料を一定期間滞納した場合は、一旦サービス利用料金の全額をお支払いいただかなければなりませんのでご注意ください。その後区役所に対して保険給付分を請求して下さい。

○ケアマネジャーがご利用者宅にお伺いするのに必要な交通費についてはお支払いいただく必要はありません、ただし、プラザの通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、ご利用者又はご家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨を文書に署名（記名）、押印を頂きます。

① 公共交通機関を利用した場合 公共交通機関の運賃分となります。また、作成した明細書等により請求します。

② 動車を利用した場合 地域ケアプラザより片道 6.5Km未満は無料とし、6.5Km以上は10Kmごとに160円を頂きます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

○ご利用者が在宅生活を継続できることを目標に意欲を引き出す支援に取り組みます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
37	37	37	37	36	37
10月	11月	12月	1月	2月	3月
37	36	37	37	37	37

<以上>

平成20年度自主事業計画書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子であそぼう！	親子のスキンシップをはかり、親子の絆を深めてもらう。毎月ちがうプログラムを用意し親子で楽しく過ごしてもらう。	毎月第3木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子であそぼう！ 「ベビーマッサージ」	親子支援の一貫。マッサージを通してスキンシップをとり、親子の絆を深めてもらう。	6月11日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がいのある中学生を対象とした居場所（活動場所）づくり。学校以外の人とのつながりをつくれる様に支援。室内レクリエーションや外出を実施。（西区社会福祉協議会と）	毎月第2火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども絵手紙教室	子育て支援の一貫として地域の親子を対象とした絵手紙教室。	毎月第2土曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みつわの会	70歳以上の独り暮らしの高齢者を対象に安否確認をしながら美味しいお弁当の配達。	毎月第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	坂の上の町内自治会館に出向き藤棚地域ケアプラザを知ってもらい、体操・健康相談等を行う。	毎月第2木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
e ネットにし探検隊	情報拠点化事業。パソコン操作の解らないところをアドバイス。地域の情報の発信。	毎週水曜日

平成20年度自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作味会	男の料理教室。簡単に作れる栄養満点の料理を作る。 仲間作りのお手伝い。 区内の男性料理教室と懇親会を2回行う。	毎月第4木曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おひさま倶楽部	夏休み・冬季に西区内の障がいのある中・高生中心に学校・家族以外の人と様々な経験をしてもらう余暇支援。 (西区社会福祉協議会と共催) 室内レクリエーション・プール・外出等を行う。	夏休み 2日 冬季 1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつクラブ	転倒骨折予防の体操教室。閉じこもり予防・仲間作り。 奇数月には、西区を中心にウォーキングを実施。	毎月第2・4金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
悠々クラブ ひまわり会 若返り会	転倒骨折予防基本教室のOB会。 転倒・骨折・閉じこもり予防。	各月とも毎月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガ教室	夜の貸室を利用して、地域の若い方々に藤棚地域 ケアプラザを知ってもらい、足を運んでもらえる様に 開催。	毎週火曜日月4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
支えあい勉強会	昨年度学んだことから、地域で何ができるか話合う。	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民まつり	西区民まつりに参加。事業の説明・健康相談等を実施。	年1回

平成20年度自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
へそ祭り	近くの商店街のお祭りに参加。藤棚地域ケアプラザを知ってもらい地域に根ざしたケアプラザを目指していく。健康相談・血圧測定等を実施。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚文化祭	藤棚地区センターとの同時開催。藤棚地域ケアプラザを地域の方々に知ってもらえる様に実施。また、自主事業の発表の場としても開催。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
藤棚茶房	ミニデイサービス。地域の高齢者の閉じこもり予防・仲間作り。毎月違うレクリエーション・発声練習・体操を実施。	毎月第1金曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
編み物クラブ	編み物をすることで、指先を使い脳の活性化を図る。仲間作りのお手伝い。	毎月第1・3土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳の健康教室	読み書き・計算を継続的に行うことで認知症予防に繋がる。閉じこもり予防・仲間作りのお手伝い。	毎週金曜日 半年間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あじさいの会	懐かしい思い出深い童謡・唱歌を唄い元気で自立した生活を送れるためのお手伝い。	毎月第3水・土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しらゆりの会	折り紙教室。指先を使い折り紙を折ることで脳を活性化。仲間作りのお手伝い。	毎月第4水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すずらんの会	折り紙教室。指先を使い折り紙を折ることで脳を活性化。仲間作りのお手伝い。	毎月第2土曜日

平成20年度自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 感謝祭	日頃活動して下さっているボランティアさんに感謝し労をねぎらう。また、ボランティア同士の交流を図る。	年1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
木削り教室	切り出しナイフの使い方を習いながら木を削り作品を作る。ナイフの危なさを勉強し学んでもらう。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
淡彩画教室	地域の方からの要望に応じて実施。身近にあるものを描く。月1度は、近くの公園等に外出。	毎月第2・4月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「めまいについて」	高齢者の起こりやすい疾病の理解。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「後期高齢者医療制度について」	保険年金課の職員を講師として医療保険について学ぶ。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「健康アドバイス」	転倒予防に繋がる誰でもできる簡単な体操を紹介してもらい先生からアドバイスを頂く。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「あけぼの会との交流会」	介護者同士の情報交換で介護負担やストレス解消をはかってもらう。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「介護体験談」	小山明子氏をお迎えし、ご自身の地域の方に支えられた体験談を語ってもらい地域の支えあいを共に考える。	年1回

平成20年度自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの ストップ！悪徳 商法の実際」	悪質な訪問販売の被害が断たない。講座を通して悪徳商法に関する知識を学んでもらう。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「認知症講演 会」	身近に起こりえる数々の事例を紹介してもらいながら認知症についての理解を深める。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン ほのぼの 「メタボリック シンドロームっ て？」	今、話題のメタボについて知り、自分の生活習慣を見直し健康管理に努めてもらう。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ディズニーラン ドに行こう！	西区内の障がいのある中・高生とボランティアで外出する。 様々な人との出会いの場を作れる様に支援していく。 (西区社会福祉協議会と共催)	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成20年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
親子であそぼう	未就園児	15,000	15,000				15,000
	1回あたり20組						
	内容により実費						
ベビーマッサージ	生後2～6ヶ月	20,000	20,000		20,000		
	10組20名						
	無料						
木削り教室	10名	30,000	20,000	10,000	30,000		
	小学1年生以上						
	1,000						
障がい児放課後支援	中学生	25,000	25,000	22,000		10,000	15,000
	5名						
	毎月1回200円						
山のうえサロン	地域住民誰でも	33,000	27,000	6,000	12,000	3,000	18,000
	なし						
	毎月1回100円						
子ども絵手紙教室	小学6年生ぐらいまで	3,000	3,000			3,000	
	なし						
	無料						
藤棚茶房	高齢者	30,000	6,000	24,000		30,000	
	なし						
	1回100円						
情報拠点化事業 eネットにし探検隊	地域住民誰でも	50,000	50,000			50,000	
	予約制						
	無料						
あじさいの会	高齢者	50,000		50,000		10,000	40,000
	なし						
	1回100円						
ケアプラザ文化祭	地域住民誰でも	50,000	50,000				50,000
	なし						
	無料						
ボランティア感謝祭	ボランティア	30,000	30,000				30,000
	40名ぐらい						
	無料						
はつらつクラブ	高齢者	48,000	21,000	27,000	48,000		
	15名						
	1回100円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成20年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
転倒骨折予防体操教室 3教室	高齢者	144,000	54,000	90,000	144,000		
	25名						
	月200円						
支えあい勉強会	地域住民	30,000	30,000				30,000
	45名ぐらい						
	無料						
シルバーサロンほのぼの 介護体験談	地域住民	272,500	272,500		157,500		115,000
	200名						
	無料						
シルバーサロンほのぼの めまいについて	地域住民	20,000	20,000		20,000		
	20名						
	無料						
シルバーサロンほのぼの 認知症講演会	地域住民	20,000	20,000		20,000		
	50名						
	無料						
ディズニーランドに行こう！	中・高生とボランティア	200,000	133,000	67,000			200,000
	30名						
	実費						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成20年度 地域ケアプラザ資金収支予算内訳表

施設名：横浜市藤棚地域ケアプラザ

(自)平成20年4月1日

(至)平成21年3月31日

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,061	24,123				
	介護保険収入			8,113	5,325	84,098	18,619
	その他						
	認定調査				910		
	収入合計(A)	19,061	24,123	8,113	6,235	84,098	18,619
支出	人件費	10,689	20,586	0	11,446	50,249	
	事務費	623	350				
	事業費	1,454	1,656		1,002	18,943	
	管理費	5,760	1,531			2,112	
	その他						
	居介支委託分			2,543			
	消費税	535					
支出合計(B)	19,061	24,123	2,543	12,448	71,304		
収支 (A)－(B)		0	0	5,570	-6,213	12,794	18,619

(単位：千円)